

藤田 梨歩さん

JICA 海外協力隊 2019 年度 1 次隊
派遣国：ブラジル 職種：小学校教育



2022 年 7 月 17 日（日）中国新聞 SELECT 掲載
※中国新聞社の許諾を得ています

「学びたい」をサポート

日系社会青年海外協力隊としてブラジルに渡り、帰国してから 2 年がたった。現在は山口県の公立小学校に勤務し、今年は 1 年生の担任をしている。

2019 年 7 月、ブラジル北部パラ州トメアスー市に小学校教師として赴任し、現地の教育のサポートに取り組んだ。2 つの学校を拠点とし、午前中は日系人の学校で小学生から高校生までの体育指導や算数補助をメインの活動とし、午後は日本語学校で幼児から大人までを対象に日本語を教えた。



日系人の学校の体育授業でダンスを踊る小 4 の児童

トメアスー市には今なお日系人が多く住んでいる。だが、いざ現地の日系人の学校に行ってみると生徒の 9 割は非日系の子どもで、言葉や文化が異なる中で現地の教師や子どもたちとゼロから信頼関係を築くことに苦労した。

外国人である私が来たことで現場を混乱させているのではないかと思うことさえあった。日本人の私に何ができるのか考えては悩み、ブラジルの子どもたちに寄り添えるよう試行錯誤して取り組んだ。

物が無い中で教具の開発や授業のアイデア探しに奔走した。もちろんブラジルには貧困、銃社会、少年犯罪などの問題があり、満足に教育を受けられない子が多いという現実がある。当たり前で学べる環境がある日本とは世界が違った。

しかし、子どもたちの「勉強したい、できるようになりたい」という思いは世界共通。子どもの本質は変わらないのだと感じた。毎日を一生懸命生きるブラジルの子どもたちをサポートしたいと強く思った。

今は日本の子どもたちと向き合い、忙しい日々を送っているが、あの日のブラジルで過ごした全ての経験が私の財産となって生きている。